

「地盤防災と地盤災害を学ぶー三川合流部から淀川上流地域を例にしてー」 講習会開催のお知らせ

共催：KG-NET・関西圏地盤研究会・一般社団法人関西地質調査業協会

KG-NET・関西圏地盤研究会（KG-NET：関西圏地盤情報ネットワーク）と関西地質調査業協会は、2022年より地盤の研究対象を三川合流部から淀川上流地域とし、今後の地盤防災に役立てるため地盤特性の研究に取り組んでまいりました。この研究では、地域の地盤情報を基礎に、地下水観測、現場計測などを実施し地盤特性の検討を行ってまいりました。この度、本研究の成果を書籍「新関西地盤ー三川合流部から淀川上流地域ー」にとりまとめ刊行するはこびとなりました。また、多くの方々に内容を解説し、公表する場として講習会を企画いたしました。皆様のご参加をお待ちしております。

日 時： 2025年12月8日（月）10:30～17:00

会 場： 国民會館大阪城ビル12階 中ホール（+Zoomでのハイブリット形式予定）

定 員： 会場参加100名、（先着順）※定員になり次第締め切ります

テ キ ス ト：「新関西地盤ー三川合流部から淀川上流地域ー」（A4版、200p、カラー図20p）

テキスト代： 会員 ￥7,200-

一般 ￥9,000-

（受講料込、消費税込）

※会員：関西圏地盤研究会(KG-R)会員、関西圏地盤DB運営機構(KG-A)会員、関西地質調査業協会会員、協賛学会の学生会員

参 加 申 込：下記宛にFAXまたはE-mailで、「講習会申込」、参加者氏名、所属、連絡先、TEL、FAX、E-mailをご記入のうえ、お申し込み下さい。

E-mail：geodick@geor.or.jp

F A X：(06)-6941-8883

T E L：(06)-6941-8833（一財）GRI財団（KG-NET・関西圏地盤研究会 事務局）

土木学会認定CPDプログラム申請予定

プログラム（予定）：時間、講師は変更する場合があります（敬称略）

10:00～10:30 受付

10:30～10:35 開会の挨拶

KG-R委員長 三村 衛（GRI財団）

10:35～10:45 【研究の背景と目的】

肥後陽介（京都大学）

10:45～11:15 【三川合流部周辺と淀川上流地域の地形地質】

北田奈緒子（GRI財団）

伊藤浩子（GRI財団）

11:15～11:45 【三川合流部周辺と淀川上流地域の土質特性】

木元小百合（大阪産業大学）

岩井裕正（京都大学）

11:45～12:00 【AI粒度試験・電脳粒度・】

景山 健（基礎地盤コンサルタンツ）

*** 昼食（60分） ***

13:00～13:30 【DB利活用部会】

後藤浩之（京都大学防災研究所）

13:30～14:10 【水理学的視点からみた対象地域の特徴】

市川 温（京都大学）

音田慎一郎（京都大学）

14:10～15:00 【上津屋漏水調査】

五十嵐慎久（キタイ設計）

肥後陽介（京都大学）

*** 休息（20分） ***

15:20～15:40 【深部構造】

末廣匡基（阪神コンサルタンツ）

15:40～16:10 【液状化評価と検討事例】

鋤田泰子（神戸大学）

肥後陽介（京都大学）

16:10～16:50 【三河川の水害履歴と地形・地盤の特性】

岩瀬信行ほか（関西地質調査業協会）

16:50～17:00 閉会の挨拶

東原 純（関西地質調査業協会）